

## 第64回:食と酒は上海にあり

上海万博が終了した翌月の中旬、16か月ぶりに上海に出張した。筆者が中国を好きなのか、中国が筆者を愛しているのか不詳だが、何れにしても中国と縁を結んで約30年、これだけ中国と離れていたのは初めての経験である。久しぶりに会いたい友人も多く、「今度上海に行くから、久しぶりに食事でもどう？」と連絡したところ全員から一斉に Done ! と返事が届き、慌てて日程調整を始めたが、人は多く日は少なく、どう組んでも無理、出発日が近づくにつれ殆どパニックになった。ランチも悪くはないが昼食組と夕食組で差をつけたのが後で発覚すると困るので、会食はやはり夕食に限定したい。今回の目的は市内観察を切り口にした中国の分析と予測にあり、フィールドワークで理解できないところは友人たちから本音を聞き出そうと考えて、抛磚引玉(瓦を投げて玉を引き出す=タタキ台)の仮説も念入りに用意した。間違ってもアリバイ作りの企業訪問は止めようと決め、朝から夕方まで港湾空港や街中を歩き回ることにした。

結果、上海8泊の内訳で夜の食事は世話になった弊社駐在員事務所スタッフと2回、日本人の友人と1回、中国の老朋友と7回となった。8泊で夕食10回とは計算が合わないが、金曜日と日曜日は午後5時からの夕食と、8時過ぎからの夕食で掛け持ちしたからである。むかしの自民党大物議員のような過密日程である。移動時間を省くために、同じレストランで個室を二つ用意した。ウェイトレスも吃驚したようで「あんだ、さっきの食事で足りないの？」と言いながら、「今度は何を飲むの？」と尋ねる失礼な子もいた。

日本人の E 君と U 君には申し訳なかったが、強引に初対面の2人を引き合わせて食事につきあってもらった。両氏は快く受けてくれたが、「これがホントの EU 統合だね」とその一人からチクリとやられてしまった。10回の内9回は中国人との会食であり、そのため一度もワリカンはなかった。気を使ってくれた友人が多く、4回は筆者が強引に支払ったが、残り6回はご馳走になってしまった。互いにメンツがあり、最後は勘定書きの奪い合いになってしまうのである。相手がトイレに立った際に払おうと思ったら、先手を取られ既に勘定が済んでいたケースもあった。友人同士だから見栄を張る必要はないのだが、この辺のやりとりは煩わしい一方、心温まるものもある。日本人同士の飲食はワリカンが基本であり、これはこれで合理的なのだろうが何か味気なく、兼好法師なら真っ先に「すさまじきもの」に指定しただろう。勘定の際に、トイレに籠城したり、寝たふりをする中国人は見たことがない。

一緒に食事した友人は、学者・金融マン・企業家・公務員と様々であり、皆多忙な毎日を送っているようだ。幸い世界には「グーグル」、中国には「百度」等の検索エンジンが多く、名前を打ち込めば多くの情報がヒットする連中ばかりなので、会わずとも互いの近況は知っていたようである。さる友人から「貴社ウェブサイトの『巨龍のあくび』を楽しみにしているが、最近HPが変更になったね」と言われ、ギョツとした。

「あんだ、日本語読めたの!？」

「なに、部下が翻訳を届けてくれるので」

ゲツ! 読んでいたのか!..まずいな。尖閣問題やノーベル平和賞で、最近批判調のコラムを沢山書いているからなあ...

「特に尖閣問題に対する貴兄のコメントは役に立ち、上層部へのレポートにも引用させてもらったよ」

「オレ...もしかして今回マークされているの?」

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

「まさか！我々も結構忙しいもので……それより、たまには美味しそうなグルメ記事でも書いてらどう？」

親友の勧めでもあるので、今回は日米合同軍事演習の話題を変更し、内容を「食は上海にあり」としよう。友は類を呼ぶという通り、筆者の友人は皆大酒呑み、中国語の「海量(ハイリヤン)」だが、グルメは少ない。本当のグルメは、レストランに入ると、先ず烏龍茶や龍井茶等の名茶をゆっくり喫し(これが結構高い)、それからおもむろに冷菜(オードブル)、熱菜(メイン)、主食(麺やチャーハン)、点心(デザート)とオーダーし、最後に飲む酒を指定するが我々は違う。お茶の注文にきたウェイトレスに向かって一斉に啤酒(ビール) 来来！と叫ぶ。ここで「冷的啤酒！」と叫ばないと温いのがくるので注意を要する。冷たい飲み物は体に悪いと漢方は教えている。次に酒の肴として冷菜を少し多めに頼む。海蜇皮(クラゲ)、叉焼(チャーシュー)、皮蛋(ピータン)、棒棒鶏(バンバンジー)、茴香豆(ソラマメの八角煮)等が陸続と運ばれてくれば、やや甘い青島ビールも一気に美味しさを増す。ビールは腹を膨張させるので適当に切り上げ、早めに紹興酒に移る必要がある。これが紹興生まれの文豪魯迅先生に対する礼儀である。紹興酒はぬるめの爛にして、千切りにした生姜を盃に入れて飲むのが上海流。もともとは庶民が料理用の安酒を美味しく飲む工夫として、梅干(砂糖漬け)や砂糖を入れて飲んでいたことによるものであり、レストンで飲むような高級紹興酒に入れるのは邪道だと言う人もいるが、自分の金で飲む以上、小さな親切・大きなお世話というものだ。

4人で紹興酒を数本も飲めば、いつのまにかメインの熱菜はどうでもよくなってくる。とはいえ友人に対する儀礼として、終盤には石斑魚(ガルーパ)というクエやアラの仲間の高級魚を頼むべきだろう。アラは福岡場所ですこいの相撲取りたちが好むちゃんこ鍋の王者である。日本でも高いが物価の安い中国でもこれは高い。石斑魚の種類によっては1斤(500グラム)で邦貨1万円くらいする。これを蒸して(清蒸)、最後にピーナツ油に醤油など調味料を加えた高熱ソースをジュッ！と回しかけ食べるのだが、これ明石の真鯛の煮付けよりも旨い。身内の宴会であれば、熱いご飯の上に魚の残り汁をぶっかければ、ほとんど悶絶するほど美味しいが、そんな行儀の悪いことをする勇気がない人は、この残り汁は諦めて、締めにはチャーハンや水餃子を頼めば良いだろう。ここで紹興酒は一旦ストップして、青島ビールの再登板となる。中国の餃子が日本と異なるのは焼餃子が少なく、水餃子や蒸餃子が主流であること。日本のレシピでは餃子を作るとき、餡の中にニンニクを入れが、中国では絶対に入れない。これで物足りない人は、ニンニクのスライスを齧りながら餃子を食えば良いのである。餃子には黒酢とニンニクがあればそれ以上の調味料は不要である。といった訳で親友の要請により硬派の筆者が初めてグルメレポートを書いてしまったが、上海で酒を飲むのが出張目的だったのではない。上海の将来を占うレポートは講演会で披露したい。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年12月6日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合は、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3